

おさな ひ おも で 幼き日の思い出

制作期間

2021年12月～2022年1月

サイズ

34（縦）×34（横）×3（高さ）

使用キット

ベストメカコレクション No.4 RX-78 モビルスーツ機動戦士ガンダム

ベストメカコレクション No.6 ジオン軍モビルスーツシャア専用ザク

使用材料

水性ホビーカラー、タミヤカラーズプレー（マットブラック）、結束バンド、額



1982年9月、S少年は熱を出して学校を休んでいた。おかんが買い物に行くとのこと。「あんた、何か欲しいもんあるかー。」と聞かれ、とっさに「コアブースター。」と答えた。そう。今日はコアブースターの入荷日。そんな日に学校を休むといった失態を犯してしまったことをS少年は布団の中で悔いていた。「熱さえ出なければ、熱さえ出なければたっちゃんと一緒にコアブース



ター買いに行けたのに・・・。」そんなことを考えているといつの間にかS少年は眠りに落ちてしまっていた。・・・ふと目を覚ますと、枕元にコアブースターが！！そう。昼間の平和堂には子どもはいない。ガンプラ入荷日当日のおかんは強いと知った夏の日の思い出。

そんな記憶をつい先日、第三次ガンプラブームの最中、数十年ぶりに再販された旧キット「コアブースター」の箱を手にしたときに鮮明に思い出した。価格は当時と変わらず300円プラス消費税で330円。クラクラした。当時のプラモデルは今と違って1色成型が当たり前。色を塗るのは上級者といわんばかりに、とにかく爪切りやはさみ、カッターを駆使しランナーからパーツを切り取り、付属のセメダインでくっつけて完成させていた。本当に楽しかった。この作品はそんな当時、ガンプラの説明書に載っていた「色塗り用見本」を模倣した作品。主人公機のガンダムとライバル機のシャア専用ザクの旧キットをただ設定通りに塗り分けるだけでなく、部屋のインテリアとしての用途も兼ね備えられるようにと額装を施したもの。一見モダンな雰囲気を持ちながら、その中に閉じ込めたのは「幼き日の思い出」。ガンプラブームに踊った者であれば、誰しものがあこがれたあの日あの時の再現です。中学生に分かるかなー。

副校長 奥井 伸

注釈

- 1 平和堂・・・滋賀県発祥の大型のスーパー。生活用品から雑貨、書籍はもちろん玩具まで全てが揃う。
- 2 爪切りやはさみ、カッター・・・当時ニッパーなどというものは認識こそすれ、とてもではないが手にできる代物ではなかった。刃物がなければ手でもいっていた。当時の完成品が押し入れの奥から出てきたときあまりの出来の悪さに驚いた記憶がある。
- 3 セメダイン・・・今のガンプラはパーツをはめ込んでいくことで完成するが、当時は接着という行程がマストであった。セメダインはシンナー臭が酷く、プラモデルを作りすぎて気管支炎になってしまったことは忘れられない。